



平成 23 年 7 月 29 日

各 位

会 社 名 株式会社ラックランド
代表者名 代表取締役社長 望月 圭一郎
(コード番号 9612 東証 2 部)
問合せ先 常務執行役員管理本部長 天明 恒男
(TEL:03-3377-9331 (代表))

第 2 四半期連結累計期間業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

平成 23 年 2 月 10 日に公表しました平成 23 年 12 月期第 2 四半期連結累計期間業績予想(平成 23 年 1 月 1 日～平成 23 年 6 月 30 日)と本日公表の同期間の実績値に下記のとおり差異が生じましたので、お知らせいたします。

なお、平成 23 年 12 月期通期連結業績予想につきましては、本日公表の平成 23 年 12 月期第 2 四半期決算短信に記載のとおり従来の予想からの修正はありません。

記

1. 平成 23 年 12 月期第 2 四半期連結累計期間業績予想と実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	6,721	58	57	37	5 18
実績値 (B)	7,147	△13	10	7	1 00
増減額 (B－A)	426	△71	△47	△30	－ ー
増減率 (%)	6.3	－	△82.4	△80.7	－ ー
(ご参考) 前期第 2 四半期実績	6,076	9	25	148	20 30

2. 差異の理由

当社グループは、対処すべき課題である「主要マーケットにおける競争力強化と力を活かせるマーケットを開拓し、どのような環境下においても会社として成長していける基盤を構築すること」の実現に向け、売上高の永続的な増大を図るべく、顧客数やメンテナンス店舗数の拡大に注力して参りました。この結果、売上高は予想を上回ることができました。

しかしながら、優良な新規顧客への参入初期での低粗利による政策的受注を実施したこと、及び震災以降 6 月末頃まで当社開発の省エネ機器に使用する粗利率の高いインバータ部品の供給停止・遅延があり受注制限せざるを得なかったこと等により、計画比で粗利率が低下いたしました。この結果、営業利益・経常利益・四半期純利益は予想を下回ることとなりました。

以 上